

Lib.

京都産業大学図書館報
Vol. 45, no. 2 (Oct. 1, 2018)

・館長就任のご挨拶 「図書館は多様な本の背表紙に出会える場所」 … 2	・ビブリアたいむず (第9回) ★ビブリアおすすめ映画紹介 「コレ、図書館にあります!」 選書ツアー報告@丸善京都本店 …… 12-13
・古本募金について …… 3	・京都産業大学Lib.トーク2018 開催報告 「未来型読書法 ABDを体験しよう」 …… 14
・特集 小説家 平野啓一郎氏 「私の読書遍歴」 京都産業大学図書館書評大賞講演会 etc …… 4-7	・自著を語る (No.96) 『ホーソーンのプロヴィデンス: 芸術思想と 長編創作の技法』中西 佳世子 …… 15
・情報の探し方 (No.32) 「AFP World Academic Archive」 …… 8-9	・図書館からのお知らせ …… 16
・今をキャッチ。(キーワード11) 「複雑化する社会で成功するには」 沈 政郁 …… 10	
・図書館と私 (第7回) 渡邊 泰彦 …… 11	



図書館は多様な本の 背表紙に出会える場所



図書館長 西村佳子

大学生の皆さんが子供だった頃、書籍や映画のハリー・ポッターシリーズが爆発的な支持を受けていたことを覚えているだろうか。2017年秋から行われた大英図書館の特別展についての取材を受けるJ.K. ローリング氏の背後には、大英図書館の高い天井のドームアーチの際までそびえる圧巻の書架があった。ホールを取り囲むように配置された書架は重厚で何とも美しい。私たちの図書館の書架がこのように重厚で美しかったら……と思わないわけではないが、京都産業大学の図書館は、113万冊もの蔵書・資料を擁する十分に機能的な図書館である。

7月の書評大賞講演会にお招きした平野啓一郎先生のお話や講演後のエピソードと、取材に答えるJ.K. ローリング氏の話には、ふたつの共通点があった。おふた方は作家として作品を生み出すことを生業としているので注目されるのは常にoutputであるが、どちらもinputについて語っておられたことが印象的だった。共通点のひとつめは、どちらの作家も若い時代のある時期、まるで図書館に住むように長く滞在して、膨大な資料を読み込んでいたということである。文学作品はもちろん、宗教、哲学、歴史書、美術書まで幅広く。ふたつめは、書籍や資料との偶然の出会いの重要性を強調されていたことである。偶然、目に飛び込んできた本の背表紙を見て手に取るところから、inputされる情報の範囲は広がり、情報同士がつながり、outputがより豊かになる。本屋では最新の本の背表紙や多くの人に支持されている背表紙と出会い、図書館では最新の本の背表紙だけでなく、需要の少ない本や古い本の背表紙にも出会うことができる。

京都産業大学の図書館のWebサイトに入ると、インターネットを使って情報検索ができる多様なデータベースサービスが準備されている。インターネット上の玉石混交の情報に比べると、図書館で提供されているサービスを使って、雑誌記事や論文、書籍を検索するのは、とても効率の良い方法である。しかし、だからといって、図書館に足を運ぶ魅力が無くなってしまわない。

探している情報に辿り着くためにデータベース検索という方法だけを使っていると、自分では思いつかなかった検索用語を入力すれば出会えたはずの重要な情報を排除していないか、検索用語を入力した時点で隣接する重要な情報を排除してしまっていないか、という不安が付きまとう。そういうときは迷わず、図書館に足を運んでみてはどうだろうか。偶然、目に飛び込んできた本の背表紙を見て手に取るところから、inputされる情報の範囲は広がり、発想は豊かになり、皆さんのレポートの内容も豊かになるはずである。

7月の書評大賞講演会の終了後、京都で大学時代を過ごされた平野先生の控え室に、当時の大学図書館の司書の方が訪ねて来られた。平野先生はパッと立ち上がり、深々と頭を下げ、感謝の気持ちを述べられた。「大学図書館と司書の方には本当にお世話になりました」と。大学図書館を存分に利用されたことが伝わってきた。皆さんが大学図書館を利用し、inputを重ね、それぞれのoutputで活躍する準備が整うことを願いながら、今日も図書館は皆さんの来館を待っている。

読み終えた
本・DVDで
大学に募金ができます

京都産業大学 古本募金

学生用図書の実
に活用します!

平成30年6月から、「京都産業大学 古本募金」がスタートしました。古本募金とは、本、DVDなど、使い終わったものをリサイクル換金して大学へ寄付できる募金のシステムです。学生、教職員、保護者、卒業生等が不要になった個人所有の書籍等を、古本募金を運営する業者に送付することによって、その査定額に応じた金額がその業者から大学に送金されるものです。現在、100大学以上が導入しており、その目的(使途)は大学により異なりますが、本学では「学生用図書充実のため」に大切に活用します。古本の送付から本学に寄付金が入金されるまでの流れは以下のとおりです。WEBまたは電話で業者に申込み後、宅配業者が自宅、研究室、事務室等の指定場所まで引き取りに来ます。



図書館設置の回収箱

なお、募金用の回収箱を図書館2階コピーコーナーに1か所設けています。回収箱から回収した古本については、匿名での寄付として扱います。 **あなたも、ぜひ、古本をお寄せください!!**

古本募金の流れ



宅配業者が伝票をもって
引き取りに伺います。

※2箱以上の場合、申込書の同梱は
1箱のみで結構です。



きしゃぼんが査定・換金し、ご寄付いただいた方に
査定額・点数を報告します。

※査定額にきしゃぼんからの100円を加算した金額が
京都産業大学に寄付されます。



ご寄付いただいた方のお名前を添えて
京都産業大学へ送金します。

回収方法

1 図書館内に回収ボックス設置中

使用済みの本を、そのまま回収ボックスへ入れてください。
この場合、寄付申込書は必要ありません。

2 ご自宅まで取りに行きます

本などを箱に詰めて、下記記載のWEBまたは電話で
お申込みの上、ご自宅にて集荷をお待ちください。

募金になるもの

本、DVD・CD、ゲーム、切手、はがき、商品券、貴金属、ブランド品



本の裏表紙、奥付等に
ISBNコード があるかご確認ください。

お出しただけのないもの

ISBNコードのない本、
タバコ、カビ臭、著しい破損、汚れ、
付属品が欠品しているもの、週刊誌

※ 京都産業大学の押印があるものは
取扱い対象外です。

お申込み・お問い合わせ

WEBで申込む (受付) 24時間・365日

京都産業大学 古本募金

kishapon.com/kyoto-su/

電話で申込む (受付) 9時~18時・365日

0120-29-7000

「京都産業大学に寄付したい」とお伝えください

(運営協賛) 古本募金きしゃぼん / 嵯峨野株式会社 〒358-0053 埼玉県入間市仏子 916 埼玉県公安委員会 古物商許可証 第 431100028608 号

(企画) 学校法人京都産業大学 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.075-705-1415 (経理部募金担当)

特集

私の 読書遍歴

小説家

平野 啓一郎



2018年7月23日（月）、『日蝕』で第120回芥川賞を受賞した小説家、平野啓一郎氏を講師にお迎えし、「私の読書遍歴」と題して、京都産業大学図書館書評大賞講演会を開催しました。Lib.コモンズ（図書館ホール）への来場者数はおよそ100名に上り、興味深い話題の尽きない講演会となりました。

■本好きとは言えなかった幼少時代

講演会は、平野氏の幼少時代の読書遍歴にまつわるエピソードから淡々と始められた。

職業柄、子どもの時から読書好きだったのかと尋ねられることが多い平野氏は、実は子どもの時は、本を読むのは全然好きではなかった。まだ1歳の時、愛知県蒲郡市に住んでいたが、父親がある日突然亡くなる。このため、平野氏は残された家族とともに母方の実家である北九州へ引っ越した。ここで、母親に図書館へよく連れられ、絵本コーナー等で絵本を読み始めたのが、本との最初の出会いだった気がする、平野氏は語った。

小学校に入ってから授業や宿題等で伝記を沢山読み、高学年位ではクラスの学級文庫に並べられている日本の名作を読む課題や宿題等があったため、夏目漱石の『坊ちゃん』や森鷗外の『高瀬舟』等を読んだ。なんとなく面白い様な感じを持ちつつ、それ程文学にのめりこむ感じは無かったことが語られた。

■中学生時代における文学開眼の瞬間

平野氏より、2つのきっかけからだんだん本を読むようになったエピソードが語られた。

1つは私立中学に通ったことで、通学時間が手持ち無沙汰であったこと。もう1つは自我が発達してきたことだという説明があった。小学生の頃までは、クラスの友達と話したり、遊んでいる時間に何の疑問もなかったが、だんだんと面白味を感じなくなり、友達としゃべること等に、距離感や孤独感を感じるようになった。平野氏に影響を与えたことの1つには、父親の急死がある。ある時から、死について深刻に考え始め、その死について、ゆっくりとこちらから近づいていく死と、突然訪れる死と2つの死のイメージを抱くようになった。そこで、本当に自分はどういう人間で、何をしたいのかを、すごく考えるようになったエピソードが紹介された。

この時期の平野氏への決定的な影響は、14歳の時の、三島由紀夫の『金閣寺』の読書経験だった。その時の感動を、「すごく異質な、非常に華麗な、煌びやかな文体で、煌めく様なレトリックと逆説的なレトリックがちりばめられていて、しかも主人公はどん底まで暗く、自分の生来のコンプレックスと、そこから醸成された自分の思想を、暗く、しかし、まばゆい程の煌びやかな告白体の文体でつづっている」と語り「後にも先にもあんなに1冊の本を夢中になって読んだことは無く、寝食を忘れて読んだ」「それが僕の文学開眼の瞬間だった」と語られた。

その後、三島由紀夫に夢中になり、『仮面の告白』や『潮騒』等の代表作を読んでからは、三島由紀夫が好きだった19世紀フランス文学やドイツ文学等の作品へ先祖返りしていく様に読書を続け、文学にのめりこんでいく様子が語られた。

平野氏は、何故そこまで文学が好きになったかという理由として、人間が何故生きて、死んでいくのかということについて、文学作品の中では色々な形で表現されていることを挙げる。「何故こんなにも、鮮やかに表現されているんだろう」、「俺が言いたかったことはこれだ!」という

※赤字（太字）の書名は本学図書館で所蔵しています。



非常に鮮烈な感動が、本を読む時に沢山あったことを説明した。

この平野氏の三島由紀夫への傾倒の経験は、自身にとって「すごく良いブックガイド」となり、最初の文学の出会いをもたらしたと語った。

その後、三島由紀夫を通じて様々な本を読書したが、途中から読書が偏っていることに自身で気がつき、その偏りを補正するために、岩波文庫の外国語文学シリーズを片っ端から読んでいったエピソードが語られる。岩波文庫は安かったが、小林秀雄によるランボオの『**地獄の季節**』の翻訳は、何とも言えない名調子で格好良く思えたことが語られた。

■ 高校・大学生時代から小説家デビューにかけて

平野氏が初めて小説を書いたのが17歳の時。この時は、小説を書きたいという衝動に突き動かされ書いたが、高評価を得られなかった。また、三島由紀夫の影響により読んだ、ドイツの作家トーマス・マンの『**トニオ・クレゲル**』や『**道化者**』等で扱われた主題「主人公が芸術の世界、美の世界に非常に強い憧れを持っている一方で、友達が楽しそうに日常生活を送っているのを見ると、自分も同じ輪の中に入りたいと思う気持ちの間で揺れ動く」ことに影響を受ける。そこで、人間の生き死にや美を考えながら本を読んでも、暗い気持ちで思い悩むことが増えるし、そういう自分に嫌気もさし、色々と考え抜いた挙句、高校3年生位の時に「もう本を読むのを止めよう」と思ったことを語られた。このことで、実際のな学部として京都大学法学部に入学したが、いくつか誤算もあったことが紹介された。特に、教科書を買いに書店や購買部へ通う内に、読んだことの無いような哲学や社会学書に興味を惹かれ、再び本を読み始めた。また、このことが、再度小説を書きたくなる気持ちに平野氏を変えていった。

2作程非公表の小説を書いた後、大学在学期間がだんだん短くなり、真剣に小説家になる事を考え始めた。そこで、平野氏が20歳から21歳の頃に、『**日蝕**』が誕生する。新潮社の文芸誌『新潮』編集長に送ったところ、幸いにして気に入られて、デビューすることになった。運も味方してくれた小説家デビューであったことのエピソードが語られた。

そして、今では、職業的に読む作品や献本が多く、仕事部屋を埋めつくす本との戦いが日常になっているとジョークを少し交えて、講演会は締めくくられた。

■ 学生から平野先生への質問を一部ご紹介！ ■

Q：中学時代の友達との距離感・孤独感について、克服するにはどの様なことが考えられますか？

A：新書『**私とは何か**』の中で、「個人」に対する概念として「分人」という概念を提示しています。簡単に言うと、人はたった1つのパーソナリティを持つのではなく、対人関係毎に複数のパーソナリティを持っていて、たった1つの自我のみが存在するという考え方はなく、様々な人と接する複数のパーソナリティ全部が本当の自分という考え方です。自分の中の欲望、様々な物事を1つでも満たせないから不登校になる様なことが無いのは、対人関係毎に様々な自分がいて、それぞれのパーソナリティが自分の中の何かを満たしているからだと考えます。自分の中の複製を、全体的に見ていくという考え方等を参考にしてください。

Q：初期の『**日蝕**』にみられた擬古文の様な文体から、最近は明らかに現代的な文体に変わったり、舞台設定や装置が現代的な内容に変わっていると感じますが、それは平野さんの中で、どの様な転換点があったのかを教えてください。

A：90年代末というのは何とも言えない世紀末感がありました。すごく閉塞感もあり、まだインターネットの様な新しい世界の出口が十分に無い状況でした。この様な状況の中で、内圧だけがグッと高まって誕生した文学が『**日蝕**』だと自分では思ってます。息苦しさから超越する様な、神秘主義的な体験の様なものによって、自分が束の間の世界から開放される様な経験を文学に託したいという気持ちがありました。

また、周囲では、文学は終わったと言う人もいれば、近代文学が終わったと言う人もいました。僕はこのことに懐疑的な気持ちがありました。中世末期のヨーロッパ位から19世紀のフランス位に至るまでの文学史を、自分なりに辿りながら、本当にそうなのかと作家として確かめました。そこで、2001年に9.11のアメリカ同時多発テロが起こりました。当時は『**葬送**』を書いていましたが、こんな19世紀の話なんか書いていて良いんだろうかと思う程、世界が激変している感じがしました。インターネットが広まり、色々な物事が可視化され、世界はものすごく変わってきている感じがして、小説家として何が書くテーマとして今一番面白いかという、現代だと、その時初めて強烈に感じました。19世紀にかなり成熟して、20世紀にまで蓄積されてきた小説の書き方では、その世界を上手く書けないという感じがありました。

だから、短篇を通じてしばらく実験的に試行錯誤した上で、自分なりに思い定めて『**決壊**』という長編小説を書きました。これは、「個人 (individual)」という近代小説の中心を成す概念が、限界にきていると考え、人間を更に細分化した「分人」という単位で小説を書いた方が、今起きていることを色々書けるのではないかと考えました。それ以降、そういう形で小説を書いています。

平野先生の読書履歴に基づく貴重なお話をいただきありがとうございました！ 長編小説『**ある男**』（文藝春秋、2018年）とエッセイ・批評集『**考える葦**』（キノブックス、2018年）が新しく刊行された平野先生のこれからのご活躍に大注目です！！



私の 読書遍歴

小説家

平野 啓一郎

講演会では、幼少時代から小説家デビューにかけてお話しいただきました。
ここでは、平野先生のデビュー作を含む初期の三部作と、その後の「分人主義」作品の一部をご紹介します。
また平野先生が最も影響を受けたとされる『金閣寺』、そのほか読書歴としてお話しいただいた作品、『本が読みたくなる！ 三島由紀夫の文学案内』を図書館所蔵資料からご紹介します。

第120回芥川賞受賞（『日蝕』）

『日蝕・一月物語』

平野啓一郎著，新潮社，2011
(913.6||HIR 2階 文庫)



大学在学中のデビュー作『日蝕』。中世フランス、パリの修道僧が異教哲学の氾濫を神学のもとに鎮めようと『ヘルメス選集』完本を求め旅に出る。司教のすすめで南仏の村へ錬金術師を訪ねるが、彼がそこで出会った人々、神秘的な体験とは……。 「息苦しさから超越するような（中略）自分が束の間の世界から開放されるような経験を文学に託したい」と平野氏が語られた作品の一つです。
デビュー2作目の『一月物語』。明治の青年詩人が熊野の山中に迷い込み、蛇毒に倒れる。山寺で介抱されるが、夜ごと夢に見る美しい女に魅せられてしまう。呑みこまれそうな山深くで、夢と現実が交錯する幻想的な物語が、近代小説のような美しい文体で描かれています。



『葬送』 第1部上・下巻，第2部上・下巻

平野啓一郎著，新潮社，2005
(913.6||HIR||1-1ほか 2階 文庫)

19世紀パリ社交界を舞台に、音楽家ショパンと画家ドラクロワ、ショパンの愛人で小説家のジョルジュ・サンドの交流を中心に、その人間模様、フランス革命前後の歴史、芸術論まで綿密に描かれた長編。19世紀フランス小説のスタイルの徹底的な検証と人物・時代考証で、執筆に3年半を要した大作です。



平成20年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞

『決壊』上・下巻

平野啓一郎著，新潮社，2011
(913.6||HIR||1~2 2階 文庫)

地方都市で平凡な家庭を営むサラリーマンがある日忽然と姿を消し、絶望的な殺人事件に巻き込まれる。現代日本のネット社会を背景に、罪と赦し、現代をぎりぎりで生きている人たちの危うさと孤独を追求した長編。

『決壊』執筆後、「『本当の自分』という考えを捨てるに至った」（本文より）という平野氏が、人間の基本単位「個人」を考え直し、「分人」という単位をわかりやすく提案した一冊。

『私とは何か：「個人」から「分人」へ』
平野啓一郎著，講談社，2012
(914.6||HIR 2階)



『金閣寺』

三島由紀夫著，102刷改版，新潮社，2003
(913.6||MIS 2階 文庫)

1956年刊。金閣寺放火事件を題材にした、吃音をもつ学僧による金閣寺という伝統美への破壊衝動を告白体で綴った代表作。平野氏が14歳のときに初めて読んだという三島作品で、「非常に華麗できらびやかな、硬質な文体」「きらめくような、逆説的なレトリックがちりばめられた」と形容されています。



『仮面の告白』

三島由紀夫著，改版，新潮社，2003
(913.6||MIS 2階 文庫)

1949年刊。2作目の長編小説で、自らの性的倒錯を告白した自伝的小説。生い立ち、級友への同性愛的な憧れ、友人の妹との恋愛……。三島文学の出発点ともいえる代表作。



『潮騒』

三島由紀夫著，改版，新潮社，2005
(913.6||MIS 2階 文庫)



1954年刊。古代ギリシア文学をもとに書かれた純愛小説で、何度も映画化されています。舞台となった三重県神島とエゲ海が重なるような、自然の描写も素晴らしい作品です。



『トニオ・クレエゲル』

トオマス・マン著；実吉捷郎訳，
改版，岩波書店，2003
(943.7||MAN 2階 文庫)

1903年刊。芸術を愛し、まわりの友人たちに違和感を覚えながらも、他者を求めずにはいられない青年の物語。心の中の理想と実際の日常生活の不一致に悩む若者たちの永遠のバイブルです。

1873年、ランボオが18歳のときに書いた散文詩集で、後世に大きな影響を残した作品。小林秀雄の翻訳が有名で、翻訳の文体からも独特の詩の世界を感じる翻訳文学でもあります。

『地獄の季節』

ランボオ作；小林秀雄訳，
第16刷改版，岩波書店，1970
(951.6||RIM 2階 文庫)



《本が読みたくなる！ 三島由紀夫の文学案内》

『三島由紀夫のフランス文学講座』

三島由紀夫著；鹿島茂編，筑摩書房，1997
(950.4||MIS 2階 文庫)



三島作品に出てくる作家の作品や三島が書評をした作品、三島が好きだった作品を読んで、どんどん文学にのめり込んでいったという平野氏。本が読みたくなるような魅力的な書評とは？ 三島のフランス文学観、三島作品への影響を知るうえでも役立つ一冊。

様々な作家・作品に言及、引用しながら文章・文体について考察されています。「あらゆる様式の文章の面白さ」「あらゆる様式の文章の美しさ」（本文より）を知り、文章を味わうことを教えてください。三島の小説作法としても興味深く読めます。



『文章読本』

三島由紀夫著，改版，中央公論社，1995
(816||MIS 2階 文庫)

情報の探し方 No.32 「AFP World Academic Archive」

現在導入しているデータベースなど、学修・研究をする上で欠かすことのできない検索ツールの利用方法などを紹介するコーナーです。

AFP World Academic Archiveとは？

創立1835年。世界で最も長い歴史を持つフランス・AFP通信（Agence France-Presse）の報道用データベースです。

世界各国13,000社を超えるメディアに配信されている報道写真、ニュース映像、ニュース記事とそのアーカイブにインターネットでアクセスすることができます。すべてのデータはアカデミックユースでの著作物二次利用許諾済みであるため、レポート、論文、発表資料等に利用することができます。



1. ログインの方法

本学図書館Webサイト「データベース」ページ (<https://www.kyoto-su.ac.jp/library/search/index.html>) から、新聞・報道分野内にある「AFP World Academic Archive」をクリックし、アクセスします。学内からは、**I accept** をクリックすると検索画面に遷移します。

名前	同時アクセス数	学外接続時の認証有無	説明
新聞ビジュアル	7	有	詳細
日経テレコン	25	有	詳細
コトダス院の家	2	有	詳細
音楽（マイザク）	2	有	詳細
AFP World Academic Archive	無制限	専用ID・パスワード必要	詳細

最初に、すべてのコンテンツを閲覧するため、AFP WAAウェブサイトにてアカウントを作成してください（学内からのみ作成可能）。次の手順で、IDとパスワードを発行してください。

- ①本学ネットワーク内から発行申請用URL(<http://www.afpwaa.com/>)にアクセスする。
- ②画面左上にあるAFPForumアカウントの「ログイン」ボタンをクリックする。
- ③「AFPForumログインについて」の画面下部にある新規登録メニューを選択する。
※申請者の身分に応じて「学生用」「教職員用」を選択する。
- ④各記入事項に記入し、確認画面へ進む。
※「学校名、及び法人名」は「京都産業大学」を選択する。
※メールアドレス入力欄には本学が発行するメールアドレスを入力する。

※本学が発行するメールアドレス以外の場合、アカウントは発行されない。

- ⑤内容確認後、訂正がなければそのまま申請する。
- ⑥申請時に使用したメールアドレスへAFP-Forumから英文メールが届く（申込み受付から約3営業日）。
※日本語メールも届くが、登録には使用しない。
- ⑦英文メールの内容に従い、パスワード発行・変更等の処理を行う。

2. データベースの画面構成

[Photos・Graphics（写真・グラフィック）]

報道写真を中心とする世界最大級のデジタル・フォトアーカイブ。世界各国の通信社や、専門性に特化したフォトエージェンシーとの提携による“Partner photos”（注:有料アカウントによるサービス）の素材と合わせて、幅広いジャンルと年代を網羅したビジュアルデータが豊富に収録されています。

[Videos・Videographics（動画）]

世界165カ国から24時間365日体制で提供されるグローバルニュースのビデオ映像を、6カ国語で配信しています（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、アラビア語）。ビデオにはスクリプトが掲載されているので、語学教材としても使えます。

[Text stories（記事）]

世界各地で取材したあらゆるジャンルの最新ニュース記事が、どのメディアよりも速く閲覧できます。報道機関への配信と全く同じタイミングで、事件、事故、紛争、災害などの重大事件の場合、現場の状況を伝える速報が“Breaking News”として刻々とアップデートされます。各国の政府機関、あるいは政財界、金融界、シンクタンクといった民間企業などでも常時活用されています。

3. 2つの検索方法

1. キーワード検索

- ① キーワードを入力
- ② コンテンツのタイプ・日付で検索

2. 詳細検索

- ① 名前別
- ② 地域別
- ③ カテゴリー別
- ④ キーワード別
- ⑤ コンテンツのタイプ別
- ⑥ 言語別

例として、本学卒業生で、今年からメジャーリーグ Arizona Diamondbacksでプレーしている平野投手「Yoshihisa Hirano」をキーワードに入力し、検索してみると、Photosから9月8日時点で153点が検索されました。

※検索ワードはすべて半角英数字で入力してください。日本語や全角文字は使用できません。
 ※検索結果を絞り込む場合、いろいろな検索条件を指定する場合は詳細検索へ。

4. 印刷とダウンロードの方法

各サムネイル下にある□にチェックをしてツールバーの をクリックすると印刷できます。

または画面右側の (上図)をクリックすると、ダウンロード画面が開きます。

5. 写真・図版、映像、および引用したテキストを使う際の注意

- (1) クレジットを必ず標記してください。
- (2) 営利目的には使用できません。
- (3) 肖像権の侵害にご注意ください。
- (4) ホームページやブログ、書き込みなどへの転用はできません。

旬な
話題を解説!

今をキャッチ。



キーワード11 複雑化する社会で成功するには？ (解説：沈 政郁)

Globalの時代になり、世界規模で人・物・お金が繋がっている。生物系のシステムを表現するために用いられていた「複雑系」という言葉が、人が作ってきたシステムにも適用される時代に入りつつある。「バタフライ効果」と呼ばれる現象である。

問題はこのような環境の変化に対してどのように対処すべきかが難しいことであろう。「破壊的技術」で表されているように、小さな新しい技術がそれまでの企業生態系を激変させることが頻繁に生じているし、これからはもっと増えてゆくだろう。このような話は企業だけではなく、これから社会に出ようと準備している学生にも当てはまる話である。

自分の感覚では、多くの学生が無防備のまま卒業して社会に出ている。それでは、何を準備すればよいのだろうか？ この問いに対するヒントになりうる本をいくつか紹介していきたい。

(シム ジョンウツ 経済学部教員)

もっと知りたいあなたに。 ※沈先生ご推薦！



『Give&take: 「与える人」こそ成功する時代』

アダム・グラント著、三笠書房、2014 (336.49||GRA 3階)

お人好しは利用されて損をするとよく考えられているが、複雑化する社会では賢いGiverが成功する。なぜか知りたい人は是非一読をお勧めする。

『やり抜く力: 人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける』

アンジェラ・ダックワース著、ダイヤモンド社、2016 (159||DUC 2階)

様々な分野で成功を収めている人たちの共通の特徴を大規模データで分析した結果、それはGRITという要素であった。本当に成功したい人は是非一読をお勧めする。



『ファスト&スロー: あなたの意思はどのように決まるか?』

ダニエル・カーネマン著、早川書房、2012 (141.8||KAH||1~2 2階ほか)

行動経済学の創始者が人間の思考原理を解き明かす。本当の自分を理解し、メタ認知力を上げたい人は是非一読をお勧めする。



『ごく平凡な記憶力の私が1年で全米記憶力チャンピオンになれた理由(わけ)』

ジョシュア・フォア著、エクスナレッジ、2011 (141.34||FOE 2階)

複雑化する社会では、新しいことを吸収し記憶し活用しないといけない。記憶力は訓練で劇的に変えることができる。あなたも記憶力のマスターに挑戦してみましょう。



図書館と私

図書編下巻



利用者の図書館にまつわる
エッセイをご紹介します！

法学部 教授 / 渡邊 泰彦 (わたなべ やすひこ)

図書館に入り、階段を登って2階へ、そのまままっすぐに進んで、まずは「新着図書コーナー」に行きます。このコーナーには、新しく買った本という理由だけで並べられたという「何でもあり」の楽しさがあります。ジャンルも多様ならば、その割合も変わります。すべてが整理されたように見える図書館の中で、小さなカオスがあるという矛盾。一般の図書館では子ども向け、趣味の本も入っているのでカオス度が高いように思えますが、多趣味の人であればそのような本を家庭で揃えることができるかもしれず、薄味です。しかし、専門書の割合が高い大学図書館の新着図書コーナーは、ジャンルの広さと深さ、体系的なはずの本が無秩序に組み合わせられ、カオスの度合いが高くなります。このような内容の本棚を実際に持っている人は決していないでしょうし、同じ並びは同じ図書館であっても二度と見ることはできません。

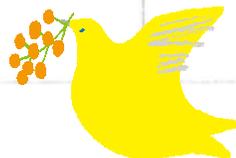
「解剖台の上でミシンとこうもり傘が偶然出会ったような美しさ」(ロートレアモン)が、新着図書コーナーでは一年中、新たに生まれているのです。

KSU-Catの検索欄にも「新着案内」があるのでは？ 整然と並ぶリストではなく、やはり、本は手に取ってみたい。大きさ、装幀が異なる本

が、一応の分類はされていますが、新着という理由だけで並ぶ様子は、目で見ないと味わえません。

このカオスを前にして、入口側の棚の背表紙で題を見ます。普段足を運ばない本棚に並ぶだろう本もあり、「世の中には、こんな特殊な分野の研究もあるのだ」と自分のことを脇に置いて感心することも。興味のある題や装幀の本があれば、手にとって、あおり文句、目次、本の裏表紙にあるいわゆるウラスジを見て、読んでみるかを考えます。本屋で見ると敷居が高い本も、専門書と並ぶと、何だか読めそうな気がします。借りてみて、読めなければ返せばよいというのが図書館の気楽さです。

裏側の棚の上段では、法律学関係の新刊書を、何だか仕事をするように迫られているようなので、さっさと見過ごします。そのまま下の段まで見てから、歴史が好きなので、もう一度表側へ。読んでみたい本があれば、手にとって横の貸出カウンターへ。次に行くと、新着図書コーナーにはないかもしれません。図書館のホームページでマイライブラリーのブックマークに登録する方法もありますが、私は、一期一会を大切に、次の新たなカオスとの出会いのために、そのままにしています。



ビブリアたいむず (第9回)

図書館サポートチーム「ビブリア」からの情報発信ページです！

★ビブリアおすすめ映画紹介「コレ、図書館にあります！」

図書館には本だけでなく、視聴覚資料も充実しています。そこで今回は、ビブリアメンバーがお薦めする映画を紹介しします。空き時間などにぜひ観てください！ 1階視聴覚カウンターで受付しています。



▶ マイケル・グレイシー監督『グレイテスト・ショーマン』 (778.253|GRA)

この映画の一番の魅力は作品のジャンルがミュージカルであるように、作中のいたるところで、出演者がリズムよくダイナミックに歌って踊る部分にあります。その姿を観ていると心が踊り元気にさせてくれる、まさに最高のエンターテインメントといっても過言ではありません。またこの作品には家族、仲間との愛や友情を深めるという大きなテーマが存在します。それを描写している部分が作中で多く見られます。それにより、見る人に家族、仲間の大切さを伝えます。出演者の明るく前向きでポジティブな思考に影響されて、見終わったら気分が盛り上がっています。そして同時に、家族・仲間の大切さというテーマから様々な事を考えることもでき、とても感動します。「グレイテスト・ショーマン」に興味を湧いた方は図書館の1階でぜひ借りてみてください。間違いなく感動し、自分自身にとって良い経験になると思います。

▶ 小津安二郎監督『東京暮色』 (778.72|OZU)

子どもたちが幼い頃、妻に愛人をつくられて逃げられた杉山周吉。その長女孝子は夫との仲がうまくいかないのじばらく夫のもとを離れ周吉の家に戻ってくる。またその末っ子の明子はあることを心の中に抱えていたが、家族にも誰にも言えないことだった。実は、彼女の遊び仲間の内の一人と肉体関係をもってしまい、子どもを身籠ってしまったのだ。しかし相手の木村は彼女と会うことを避けている。

ある日明子はいつも通っていた雀荘の女主人がかつて愛人をつくって逃げたという母なのではないかと思う。そして、誰もが予想していなかった悲劇が起こることに……。

この監督の映画の中では際立って暗い作品ですが、子どもの視点から家族とはどういうものなのかを問いかける良い作品だと思います。我々の世代でも共感出来る普遍性があり、子どもを持つ大人の方にもぜひ観て貰いたい作品です。



▶ Schroeder Barbet監督『モア PINK FLOYD』 (778.72|SCH)

主人公の青年がある日出会った女性に魅了され、彼女と共に生活を始めていくと、次第にドラッグに溺れていき、破滅していくまでの過程が描かれている物語です。順風満帆な人生もふとしたきっかけで転落するということがわかります。舞台となるイビザ島は映画の内容とは対照的にとても美しい島です。この映画の魅力はPink Floydというアーティストによる数々の場面に合った楽曲です。映画公開当時の1960年代に流行ったサイケデリックな曲調は美しさ、そしてドラッグによる衝撃を音で表現し、より映画を盛り上げます。映画における音楽はあくまで作品を盛り上げるための舞台装置であることが多いですが、この映画においては音楽も映画と一体化していると感じさせてくれるものになっています。正直とても面白いと言える内容ではなく、決して万人受けするものではありません。癖がある作品ですが、一度観てみてはいかがでしょうか。

ビブリア新メンバー募集中！

ビブリアは図書館で活動している学生団体です。具体的には、おすすめ本のPOP作製や図書館に関して企画を立案する団体です。本好きにはたまらない！他の活動やサークルとの掛け持ちも大丈夫なので、興味のある人はぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。

活動日：毎週水曜日

時間：12：15～(昼休み中心)

場所：Lib.コモンズ(図書館ホール)

連絡先：lib-sensho@star.kyoto-su.ac.jp

(学生証番号、氏名、連絡先を明記し、メールでご連絡ください)



選書ツアー報告@丸善京都本店

2018年7月1日（日）に、ビブリアメンバー16名で選書ツアーに行ってきました。選書ツアーとは、学生目線で図書館の蔵書を選ぶというイベントです。POSTでもお知らせしましたが、事前に行なったアンケートに書かれていた本と、メンバーが蔵書してほしいと思う本を出来るだけ選びました。今回は、昨年に引き続き丸善京都本店に行きました。

選書した本は、図書館2階メインカウンター付近に展示するので楽しみにしてください！

■選書ツアーを行なうまでの準備

選書ツアーは、学生の皆さんが図書館に置いてほしい本を選ぶイベントです。約1か月半をかけて、学生の皆さんにアンケートで選書してほしい本を尋ねました。その中から図書館に置くべきだと思う本を選びました。図書館に置くべき本というのは、各学部の専門書、人気の小説、英語などの語学、資格関係の本です。

当日までに、選書ツアーの流れを確認し、「どうい本を選書したいのか」図書館職員さんにプレゼンを行ないました。選書ツアーに参加するメンバーは、事前に職員さんから選書の手順についての説明を聞きました。

職員さんとも連携を取りましたので、スムーズに準備を進めることができました。



さあツアー開始。張り切っていこう！

■当日の選書ツアーの様子



まず、集合場所に集まって全員でラジオ体操をしました。イチ、ニ、サン、シ…（冗談です。そんなことはしません。）4グループに分かれ、アンケートにあった本を探しました。

次に、自分たちで図書館に必要なと思う本を、一人10冊程選びました。

選書した本は、本にあるバーコードをバーコードリーダーで読み取り、紙に選書した理由を書きます。よく選書されていたジャンルは、小説と、自分が所属している学部の専門書です。専門書はテストやレポートでよく使いますが、高くで自分で買うことが難しいので、できるだけ多く選書しました。小説は自分の好きな作家さんや、リクエストがありそうな人気の小説を選書しました。

全154冊選書し、100冊程度が蔵書になることが決まりました。



むむむ、この本はどんな本かな。。。

■選書ツアーを終えての感想

丸善京都本店はとても広く、今までに訪れた本屋の中で一番広がったです。本が豊富で、綺麗な陳列でした。沢山の人が丸善に訪れていて、活気溢れる様子でした。そして中にはカフェもあり、くつろぎながら本を読むことが出来ます。私はこのような本屋さんに来たのは初めてでとても興奮し、終始ワクワクしながら本を選ぶことができました。たくさんありすぎて選ぶのが難しく、いろいろ試行錯誤しながら本を選びました。図書館の蔵書との重複などにより、私たちが選んだ本が100パーセント入ることはないですが、選ばれた数々の本は沢山の人の人に会ってほしいです。

最後に丸善京都本店さん、ありがとうございました。また、機会があればよろしくお祈いします。（総生・3年次生）

京都BALの地下1階～地下2階を占める大きな本屋さんだったので、幅広い分野の本を選書することが出来ました。選書を行なったのは今回が初めてだったので、どんな本を選べいいかととても悩みましたが、選書しているときはとても楽しかったです。

今回新しく入った本を目的に、図書館を訪れる方が増えればとても嬉しいです。

ありがとうございました。（総生・3年次生）



ツアーが終わった直後の様子です。11時の開店と同時に始め午後2時までの3時間、一心に選書しました。終わった時は皆疲れていましたが、やり切ったというすがすがしい気持ちでした。

「未来型読書法 ABDを体験しよう」開催報告

対話型イベント、Lib.トークの2018年度第1弾として、2018年7月3日（火）に総合生命科学部の佐藤賢一先生にファシリテーター（進行役）を務めていただき、図書館蔵書『ザ・ファースト・ペンギンス：新しい価値を生む方法論』を用いて、参加型読書法ABDを開催しました。



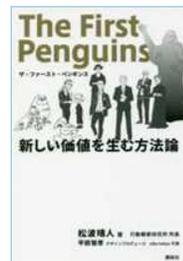
レクチャーをする佐藤先生

ABDって？

ABD(アクティブ・ブック・ダイアログ®)は、1冊の本を、グループメンバーで分担して読んでまとめる、発表・共有化する、気づきを深める、対話をするというプロセスを通して、著者の意図を深く理解する新しい読書法で、読書が苦手な人も、本が大好きな人も、短時間で読みたい本を読むことができます。

ABDの主な流れは次のとおりです。

1. 本を裁断する
(今回は、図書館蔵書なので、本のコピーを準備)。
2. 参加者に担当ページを割り振る。
3. 各自が担当ページを読む。
4. 担当ページをB5用紙で数枚に要約する。
5. 要約を一人2分程度でリレープレゼンする。
6. 参加者全員で感想や疑問について対話する。



『ザ・ファースト・ペンギンス：新しい価値を生む方法論』(336.1||MAT 3階)



担当ページを読み、B5用紙5~6枚に要約する



リレープレゼンに聴き入る

レクチャーに続き、アイスブレイクの後、参加者が担当ページを選択し、いよいよABDが始まりました。

各自が1章ごとに割り当てられた担当ページを読んで要約するために与えられる時間は40分間です。参加者は、集中して本に向かい、要約を作成していきます。

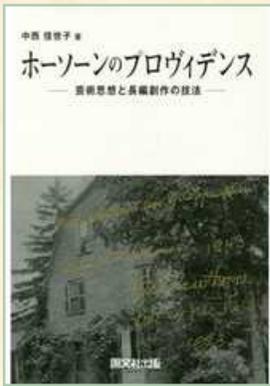
今回は全体で120分間での実施としたため、6.の参加者全員で感想や疑問について対話の時間をとることはできませんでした。しかし、参加者の多くが、アンケートに「とても良かった」「良かった」と回答しています。

「読んだことがない人に2分という限られた時間で内容を伝えることは、話の要点をとらえる、伝える能力が養われると思った。1人で本を読むと途中で眠たくなってしまふことがあるが、そんなことは全くなく楽しく本を読むことができた。ゼミの活動で取り入れてもおもしろいと思った。他の人のまとめ方等も参考になった」と感想を寄せてくれた参加者もありました。

佐藤先生は、「今日は、2つのグループで実施できた。別のグループの同じ章の要約と比較するのも面白い。ABDの体験者が増え、サークル活動のように続けていってもらえたら」と締めくくられました。

ABDは、資料と人が集う場としての図書館でのアクティブ・ラーニングに最適のイベントです。利用者の皆さんからの次回ABD開催のご提案をお待ちしています。

▶ Lib.トーク2018年度秋学期は、第2弾 報道イノベーション研究所代表松林薫氏講演「情報氾濫時代における新聞の役割と活用法」(11月15日)を皮切りに、第3弾 日本経済新聞社による新聞ワークショップ、第4弾 現代社会学部鈴木康久先生による貴重書をテーマとする講座を予定しています。詳細は、POSTおよびWebサイト、館内掲示等にてお知らせしますので、ぜひご参加ください。



自著を語る (No. 96)

中西 佳世子 著

『ホーソーンのプロヴィデンス： 芸術思想と長編創作の技法』

開文社出版, 2017



(930.268|INAK 2階 教員文庫ほか)

私の専門は19世紀アメリカ文学で、特にナサニエル・ホーソーン (1804-1864) を中心に研究を進めてきました。芸術は英語で「art」と言いますが、これは「技法、技巧」も意味します。すなわち、作家が文学的技法を駆使して精巧に編んだテキストが文学作品なのだといえます。そして、ホーソーン作品の場合、その物語を構築する手法が作品のテーマと密接に関連しています。『ホーソーンのプロヴィデンス：芸術思想と長編創作の技法』では、特にホーソーンの長編作品に遍在する「プロヴィデンス (神の摂理)」という語と概念が、作家の思想と創作技法に深く関わることを論じました。

「プロヴィデンス」は「予見する」というギリシア語に由来する概念で、後にキリスト教に取り入れられます。この語は「神の摂理」と訳されますが、実際には「神の働き」と「神」そのものの両方を指します。ホーソーンの祖先は17世紀にイギリスからアメリカ大陸にきた清教徒のひとりです。その厳格な宗教的倫理を受け継ぐ彼の作品には「この世の偶然の出来事は神の計画」という、プロヴィデンスの概念に基づくテーマが通底しています。原罪を負う不完全な人間の限られた視野では、神の計画を全て知ることは出来ないのです。そして、その不完全性という人間の本質を忘れた際限の無い目的追究は神の領域を犯す冒流行為だということになり、ホーソーン作品では、時に崇高で求道的な科学者や思想家さえも、「想念の虜」となって人間性を喪失した患者として破滅していきます。

こうした作家のテーマは作品の形式自体に表される場合があります。一例をあげてみましょう。小説には「信頼できない語り手」と言われる語り手の技法があ

り、その語り手の伝える内容が嘘の場合や、感情的な語り手が曲解した話を伝える場合などがあります。一方、ホーソーン作品で、登場人物でもある一人称の語り手が、部分的にしか出来事を把握できず、その因果関係を伝えられない「信頼できない語り手」として描かれる時、その形式自体が、不完全な人間の「限られた視野」という作家のテーマを提示しているといえます。

テーマと技法が組み合わされる例をもう一つあげてみましょう。アメリカはキリスト教に基づく宗教的思想が政治や社会に深く浸透している国ですが、ホーソーンが創作を行った19世紀には、「神に導かれるアメリカン・デモクラシー」というプロヴィデンス言説がプロパガンダとして流布され、インディアンへの排除や領土の併合などが正当化されました。プロヴィデンスの「予見する」という性質は物語に予告と結末を導入してプロットを展開させる機能を持ちますが、登場人物の恣意的なプロヴィデンスの解釈が必ずそれとは逆の不幸な結末を迎えるアイロニーを描くことで、作家はこうした現実社会に対する警告や風刺を行います。

このように、本書では、テキストに「書かれないこと」の意味、表面のテキストの裏に編まれた「別のテキスト」を見出す鍵が、作中のプロヴィデンスへの言及にあることを論じています。出版に際しては、京都産業大学の学生さんにも校正をお手伝い頂き、一般の読者にも読みやすい文体を心がけました。是非、手にとって文学研究の面白さを感じてもらえればと思います。

(なかにし かよこ 文化学部教員)

Information

◆図書館サポートチーム「ビブリア」による渾身の選書ツアーの展示及びアンケートを実施しています

「ビブリア」が学生目線で選書した資料の展示と選書に関するアンケートを実施しています。「どの分野の本がよかったと思うか」「各選書本に対する感想」など、ご意見をお聞かせください。

期間：12月26日（水）まで

場所：2階メインカウンター前

※選書ツアーの報告は、本誌p.13をご覧ください。

◆図書館展示企画「京の名水散歩」

京都は、大小の河川や地下水など豊富な水に恵まれており、人々は、寺院や茶の湯といった文化的基盤を背景に様々な文化を育んできました。住みにくい気候である京都盆地に千年近く都が存在したのは良質で豊富な水のおかげであるともいえます。

現在でも、京都では良質な井戸水を利用した豆腐・湯葉・生麩・酒などの生産が盛んであり、私たちの食卓を彩る京野菜も良質で豊富な水に支えられています。

本展示では、準貴重図書の『都名所圖會；都名所圖會拾遺』（安永9[1780]-天明8[1788]）をはじめ、京都の名水スポットや、水と深いかかわりのある加工品、京野菜などに関連する資料を紹介します。

紅葉の季節に、観光スポットの一つともいえる京の名水を巡ってみませんか。

期間：12月26日（水）まで

場所：2階メインカウンター前および1階視聴覚カウンター
横展示ケース

<関連イベント Lib.トーク>

現代社会学部 鈴木康久先生による貴重書解説を、12月にLib.コモンズ（図書館ホール）にて開催予定です。

日時等は決定次第、図書館Webサイト、POST、各種掲示などでお知らせします。学生・教職員・一般の方、どなたでもご参加ください。

◆図書館の利用ガイダンスに参加しましょう

図書館は本を借りるだけの施設ではありません。上手に使い発表の準備やレポート作成、就職活動など、「何とかしたい」と考えている学生の皆さんにとって大きな助けになるはずです。図書館実施のガイダンスでは、そのテクニックを皆さんにお伝えしています。11月からは就職活動に役立つ資料・情報収集ガイダンスを、12月にはレポートや論文作成に役立つ、Lib.活用セミナー（個別テーマ設定型ミニガイダンス）実施を予定しています。特にレポート試験でお困りの方はぜひ参加してください。

※各イベントなどの詳細は、図書館Webサイト、POST、各種掲示などで確認してください。

寄贈一覧（教員文庫）

寄贈順（2018年4月10日～2018年8月6日）敬称略

中 良子（文化学部）

『アメリカ文学における幸福の追求とその行方』金星堂、2018（執筆）

岩本 誠吾（法学部）

『ロボット・AIと法』有斐閣、2018（執筆）

行待 三輪（経営学部）

『はじめて学ぶ国際会計論』創成社、2018（執筆）

永田 和宏（総合生命科学部）

『知の体力』新潮社、2018（新潮新書；764）（執筆）

佐々木 利廣（経営学部）

『地域協働のマネジメント』中央経済社、2018（編著）

編集後記

今回の特集「小説家 平野啓一郎氏『私の読書遍歴』」は、いかがでしたでしょうか。

9年前にお越しいただいた時と変わらず、気さくに質疑に応じていただきました。そのなかで、大江健三郎氏の言葉を引いて、「本は、ある作品を読んだ時に、野球に例えると、いきなりジャストミートするものではない。最初はファウルチップでもかすったり、三振で全く手ごたえの無い時もあるけど、何か自分の人生の中で大きな出来事があったり、成長したり、必然の中でもう一度その本を読んだ時にジャストミートする時があると仰って、それは僕もすごく感じる。取り敢えず、色々な本の名前を知っていて、どういう事が書かれているのかを知っていて、機会があったら買って置いて、そうすると、ある時に正にこの本を読むタイミングだという時が訪れる」と仰っていました。

“この本を読むタイミング”がきたら、どうぞ図書館をご利用ください。所蔵していない場合は購入希望制度をご利用ください。

図書館では、利用者目線を大切に、引き続き施設・設備・資料・サービスをリニューアルしつつ、利用者の皆さんのニーズに添えてまいります。ご期待ください。

（京都産業大学図書館Lib.プロジェクト）

